

新年あけましておめでとーいございます

◆坂井輪診療所 所長 安達 哲夫



新年おめでとーいございます。昨年も新型コロナウイルスに振り回された1年でしたが、新しい動きはワクチンの登場でした。

5月24日、新潟市一斉に高齢者新型コロナウイルス接種が始まりました。しかし波から目下旬に始まり、7月12日東京都には緊急事態宣言が発出されました。しかし感染が収まりきらないうちに7月23日、東京オミクロンが流行されました。当院で2回目個別接種はお盆頃にもつやぐ落ち書きでしたが、この間オミクロンで気が緩んだため、デルタ株は猛威を振るい、8月20日には1日新規感染者数が2万5千人を超えました。その後の9月30日をもって緊急事態宣言は解除されましたが、この間に多大な犠牲者が出ました。8月だけで自宅療養死が250人、50代が7人と最も多く、50代までの比較的若い世代が54%を占めました。入院治療もかなわず、感染症のために若い世代の人たちが次々と死んでいく、もし入院治療が可能であれば救命できたかもしれません。このような未曾有な事態が戦後の日本にあつたでしょうか？感染対策のお粗末さが原因であり、人災と言わざるを得ない、二度と繰り返してはならない、すべての日本人が、決して忘れてはいけなと思います。

さて、新潟県では新型コロナウイルスワクチン接種率が90%を超え、感染も下火になってきました。しかし1月19日南アフリカでオミクロン株が発見され、世界中に拡散しつつあります。2回ワクチン接種した人でも、中和抗体が他の株の25分の1しかないと言われ、驚かれた人もおられると思います。しかしワクチンの抗体は中和抗体だけではなく、まだ記憶リンパ球があるので、重症化阻止効果は十分にあると言われています。また3回目の追加接種を行えば、オミクロン株の中和抗体価は十分に高まると言われています。当院も新潟市と歩調を合せて、かかりつけのみならず3回目ワクチンを接種できるように準備をしていきたいと思っております。

(裏へ)



2022年1月1日第144号—1
健康友の会坂井輪総支部
〒950-2054
新潟市西区寺尾東3-1-19
友の会事務局
☎・fax025-269-6682



さかいわ健康
ひろば
mini

新型コロナで開けて喜んだ昨年。おしゃべりをし一緒に大笑いする、その何でもないことがこんなに宝物だったなんて、強く感じた一年。今年は「救急医療連携ひろば」も少しずつ稼働します。「いのちのひとりのぼっち」をつくらない〜「無料低額診療」も共感を広げています。「健康友の会」の活動は今、宝石のように光っています。そのバトンを確かに渡すために新しい会員への声掛けを腰を据えてすすめますよう。コロナ3年目は地域の共同づくりの年に。